

1 第1回庁内検討部会の概要

- (1) 開催日
令和5年1月20日(金)
- (2) 議題
ア 改定の考え方について
イ 計画骨子のたたき台について

2 第1回改定検討委員会の概要

- (1) 開催日
令和5年1月27日(金)
- (2) 議題
第1回庁内検討部会と同様
- (3) 主な質疑・意見、対応状況(別紙「参考1」参照)

内 容
<p>墨田区は河川に囲まれた立地条件のため、<u>公園の概念に水面を含めるのも一案である。</u></p> <p>墨田区公園マスタープラン(以下「公園マストラ」という。)の計画対象としては、河川の水面は含めない。ただし、河川に囲まれた地形的条件は区の特徴であり、引き続き河川テラスを公園として整備していく考えであることから、水面も公園と一体的な空間を構成する大きな要素である。</p> <p>このことを踏まえ、本文中に<u>水面が公園的な空間を担っていることがわかる表現を入れることを検討している。</u></p> <p>公園新設が困難なため、明確に面積拡大を基本目標として掲げることができないが、拡大できるところは拡大し、公園を新設できるところは新設する方が良い。</p> <p>引き続き、機会を捉え、公園の新設、面積拡大は進めていく方向で検討を進めている。</p> <p>公園の数は増やせないが、<u>民間などのオープンスペースを活用し、公園的な場所をつくる</u>ことが大事であり、それがバランスよく配置されていると良い。</p> <p>私有地は区側の計画、考えでコントロールできるものではないため、公園マストラの計画対象には含めない。ただし、本区の限られた面積の中でオープンスペースは景観、環境保全、防災の機能を担う公園的な場所でもあることから、本文中に<u>民間等のオープンスペースに関する表現</u>を入れられるか検討している。</p> <p>公園単体で考えるのではなく、<u>公園からまちを良くしていく視点が大事である。</u></p> <p>その視点も検討を進めている。</p> <p><u>重点的なプランがあった方が</u>良い。</p> <p>今回改定の目玉として「<u>複数公園を単位とした、機能の相互補完の仕組み</u>」を導入する考えである。緑の基本計画でも生物多様性を強く打ち出しているため、今回の改定でも生物多様性を打ち出してもよい。</p> <p>生物多様性の視点を改定に反映させる方向で検討を進めている。</p> <p>時代の流れとして、<u>官民連携は必要不可欠である。</u></p> <p>官民連携の視点を改定に反映させる方向で検討を進めている。</p> <p>合理化やコスト削減を実現するのがDXであり、これを打ち出してはどうか。</p> <p>DXの視点を改定に反映させる方向で検討を進めている。</p> <p>骨子たたき台資料は、<u>論理的な構成</u>となるように修正した方が良い。</p> <p>骨子の流れが論理的な構成となるよう修正を進めている。</p>

3 令和4年度2月議会地域産業都市委員会の概要

- (1) 開催日
令和5年3月13日
- (2) 報告内容(別紙「参考2」参照)
ア 改定の趣旨
平成22年に中間改定した公園マストラについて、社会情勢の変化やニーズの多様化が急速に進んでいることから、これらに対応するため、令和5年度に前倒しで改定する。
イ 主な項目ごとの改定の方向性

項 目	平成22年中間改定時の考え方	改定の方向性
計画期間	平成7年の策定時に設定した計画期間は、当面の目標期間を15年(平成22年)、長期目標期間を30年(平成37年(令和7年))としており、平成22年中間改定時も、この考え方を変更していない。	各種計画の計画期間と整合させるとともに、今後の様々な状況変化に迅速・的確に対応するため、計画期間は現行よりも短期(20年以内)とし、あわせて中間改定を予定する。
基本理念	現行公園マストラの最上位概念であり、公園が、地域コミュニティの拠点となるとともに、快適な都市生活に貢献することを目指して定めている。	少子高齢化や人口動態に伴うニーズ等の変化予測を踏まえ、量の確保よりも質や機能の特性を生かした、 <u>子育てしやすい公園を始めとする誰もが快適に活用できる公園</u> を目指すための理念・方針を定める。
基本方針	基本理念を実現するため、公園の量的不足、既存公園の機能、公園の管理運営、に関する課題を踏まえて定めている。	

- (3) 主な質疑・意見

内 容
<p>【公園マストラ改定質疑】</p> <p>改定後も<u>目標整備面積42.8ha</u>を掲げていくのか。 河川の公園化を含め、改定後も引き続き目標整備面積を掲げていくが、用地確保が困難な状況であるため、検討委員会で検討していく。</p> <p>ドッグラン、BBQを公園マストラでどう位置づけるのか。 アンケート調査等を踏まえて検討委員会で検討していく。</p> <p><u>アクセス不便地域の解消</u>はなかなか難しいとのことだが、引き続き、取り組むべきではないか。 難しい状況であるため、アクセス不便地域の解消を、引き続き公園マストラに盛り込んでいくかは、検討委員会で検討していく。</p> <p>量の確保も必要だと思うので、引き続き、買収を続けていってほしい。 既存公園の隣地買収など、今後も機会を捉えて買収していく。</p> <p>【その他の意見】</p> <p><u>ボール遊びができる公園づくり</u>を検討してほしい。</p> <p><u>使われない公園が使われるようになるよう</u>、検討を進めてほしい。</p> <p><u>民間活力を活用した公園管理・運営</u>を検討してほしい。</p>